## 関東一区の生コン需要

# ６協組が前年同月比増

## 大型物件着工で回復傾向に

関東一区の主要生コン10協組の2025年7月の出荷実績がこのほど出揃った。前年同月比プラスとなったのは6協組でこのうち二ケタ以上のプラスは東関東、神奈川、湘南、千葉西部、千葉北部の5協組。昨年度後半から継続する大型物件の着工により回復傾向にある協組が多くみられた。一方、東京、三多摩は二ケタ以上のマイナスであった。工期の延期などを背景に生コン出荷に影響を及ぼしているケースもあるとみられる。

東京協組は前年同月比16・0％減の19万9千㎥。主要駅周辺の再開発や各種大規模公共施設、学校、鉄道関係などの物件がみられる。一方で、工事現場における職人不足や軽量骨材の供給不安などに起因する工事進ちょくの遅れがあると想定される。7月末の契残は393万9千㎥。

東関東は25・7％増の3万7千㎥。今年度は継続してプラスとなっている。大規模物流倉庫向けが各エリアで出荷を支えている。マンション向けは大型物件が端境期を迎えているが、複数の市街地再開発事業が計画されている。7月末の契残は28万8千㎥。

玉川は3・9％増の5万5千㎥。昨年度より引き続き民間マンションや事務所ビルといった大規模物件が出荷をけん引している。7月末の契残は47万3千㎥。

三多摩は19・4％減の5万9千㎥。これまでは周辺部において物流倉庫が目立っていたが、現在では再開発関係やマンションに移行しつつある。マンションについては今後も堅調な需要が予想される。7月末の契残は78万6千㎥。

神奈川は13・2％増の10万2千㎥。25年3月以来のプラスに転じた。大規模再開発工事が予定されているほか、物流倉庫やマンション向けの出荷も堅調である。7月末の契残は91万5千㎥。

湘南は15・4％増の6万1千㎥。物流倉庫向けの出荷が終息した。一方でマンション需要は依然として継続しており、今後も大規模案件が見込まれている。7月末の契残は54万4千㎥。

埼玉中央は7・2％減の11万4千㎥。継続して再開発や物流関係などで一定の需要がみられている。7月末の契残は93万1千㎥。

千葉中央は3・2％減の3万9千㎥。物流倉庫などの出荷があり安定した需要があるものの、一部で工期の遅れもみられている。7月末の契残は29万5千㎥。

千葉西部は16・3％増の4万8千㎥。物流施設やデータセンターなどへの出荷が継続しており、今後はマンション関連の需要などを見込んでいる。7月末の契残は43万4千㎥。

千葉北部は28・9％増の3万3千㎥。物流施設が継続的に需要を下支えする。一方、最近は物件の小型化、分散化がみられる。7月末の契残は20万8千㎥。

## 第18回コンクリート甲子園

# 過去最多の65校参加

## 9月27日に予選実施

第18回コンクリート甲子園の参加申込校が決定した。32都道府県から過去最多65校の申込があり、東海や中・四国の学校の参加が多かった。最も多い愛知、岡山、香川から5校、岐阜、愛媛から4校、栃木、兵庫、広島、徳島から3校、北海道、秋田、茨城、埼玉、千葉、京都、高知から2校参加している。

第18回コンクリート甲子園は、第18回コンクリート甲子園実行委員会が主催。共催は全国高等学校土木教育研究会。同大会は、全生工組連創立50周年を記念し千葉県船橋市の全生連中央技術研究所を会場に開催される。9月27日に予選を実施し、供試体2本の圧縮強度試験を行う。予選の上位10チームにより本選が12月6日に開催される。

本選は、強度部門、デザイン部門、プレゼンテーション部門の3部門で審査し総合優勝を決定する。強度部門は、平均値が目標強度24・0N／㎟とし、プラスマイナス3・0N／㎟の範囲内とする。デザイン部門のテーマは「お国じまん・学校じまん」。プレゼンテーションは、作製の過程や工夫などを審査委員に対して提案を行う。

参加申込校は次の通り。

▽兵庫県立豊岡総合高等学校環境建設工学科▽岡山県立岡山工業高等学校土木科▽佐賀県立鳥栖工業高等学校土木科▽岡山県立笠岡工業高等学校環境土木科▽愛知県立一宮工科高等学校都市工学科▽兵庫県立龍野北高等学校環境建設工学科▽岡山県立新見高等学校工業技術科▽福岡県立八幡工業高等学校土木科▽大分県立大分工業高等学校土木科▽群馬県立高崎工業高等学校土木科▽徳島県立阿南光高等学校都市環境システム科▽徳島県立つるぎ高等学校建設科▽栃木県立宇都宮工業高等学校環境土木科▽広島市立広島工業高等学校建築科▽岐阜県立可児工業高等学校土木工学科▽高知県立安芸高等学校機械土木科土木専攻▽名古屋市立工芸高等学校都市システム科▽広島県立福山工業高等学校建築科▽栃木県立真岡工業高等学校建設科

▽京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎建築科▽高知県立高知工業高等学校土木科▽香川県立石田高等学校農業土木科▽兵庫県立篠山産業高等学校電気建設工学科建設コース▽北海道釧路工業高等学校土木科▽長野県長野工業高等学校土木工学科▽舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科▽広島県立広島工業高等学校土木科▽鹿児島県立鹿児島工業高等学校建設技術系▽愛媛県立松山工業高等学校土木科▽徳島県立徳島科学技術高等学校建設技術類環境土木コース▽北海道札幌工業高等学校土木科▽愛媛県立八幡浜工業高等学校機械土木工学科▽香川県立多度津高等学校土木科▽東京都立葛西工科高等学校建築科▽新潟県立塩沢商工高等学校地域創造工学科▽創学館高等学校やまがたインコース▽茨城県立土浦工業高等学校土木科▽岡山県立高松農業高等学校農業土木科▽福島県立福島明成高等学校環境土木科▽愛知県立半田工科高等学校都市工学科

▽神奈川県立向の岡工業高等学校建設科▽木更津工業高等専門学校環境都市工学科▽岐阜県立大垣工業高等学校建設工学科▽埼玉県立熊谷工業高等学校土木科▽金沢市立工業高等学校土木科▽岡山県立津山工業高等学校土木科▽名古屋名古屋工業高等学校土木科▽香川県立高松工芸高等学校建築科▽愛知県立岡崎工科高等学校都市工学科▽秋田県立秋田工業高等学校土木科▽島根県立松江工業高等学校建築都市工学科▽香川県立高松南高等学校環境科学科▽千葉県立京葉工業高等学校建設科▽愛媛県立東予高等学校建設工学科▽仙台市立仙台工業高等学校土木科▽秋田県立大曲工業高等学校土木・建築科土木コース▽青森県立弘前工業高等学校土木科▽茨城県立水戸工業高等学校建築科▽香川高等専門学校建設環境工学科▽岐阜工業高等専門学校環境都市工学科▽和歌山県立和歌山工業高等学校土木科▽埼玉県立いずみ高等学校環境建設科▽岐阜県立岐阜工業高等学校土木工学科▽栃木県立那須清峰高等学校建設工学科▽愛媛県立西条農業高等学校環境工学科

## 成田眞一理事長に

# 北海道産業貢献賞

北海道中小企業団体中央会は6日、札幌市内で「中央会創立70周年記念中小企業団体全道大会」を開催し、全道各地から中小企業団体の関係者など200人以上が参加した。

このなかで同中央会推薦分の2025年度北海道産業貢献賞（北海道知事表彰）の表彰状贈呈式が行われ、建設関連では北海道生コンクリート工業組合の成田眞一理事長が受賞の栄に浴し表彰状を手渡された（写真）。

長年にわたり同工組の役員としてその運営に尽力するとともに組合員の経営の安定に努め、道における商工業の発展に貢献した功績をたたえ表彰されたもの。

## 河島コンクリート工業

# 花火大会に敷地開放

## 近隣住民ら600人招待

プラントのバックに打ちあがる花火

東京都板橋区で生コンの製造・販売事業を展開する河島コンクリート工業（河島慎吾社長）は2日、同日開催の第66回いたばし花火大会に合わせて、本社工場敷地内で納涼会を行った。

同社は毎年、いたばし花火大会に協賛するとともに、地域貢献・地元密着型イベントの一環で工場の敷地を関係者や地域住民に花火の観覧会場として開放している。今年もセメントメーカーをはじめとする取引先関係者だけでなく、地元の少年野球チームや区立新河岸小学校の1年生を含む近隣住民を多数招待。総勢600人あまりが参加して、生コンプラントのバックに夜空を彩る花火の美しさを堪能した。

花火大会の開始前には河島社長が「台風9号が関東に接近していたこともあり、前日からずっと中止にならないかどうかと気を揉んでいたが、無事に晴れ渡り、絶好の花火日和となった。夏のお祭りにふさわしい美味しい料理や飲み物も多数用意されているので、ぜひとも1年に一度のイベントを存分に楽しんでいただきたい」とあいさつ。

敷地内には人気店による出店が並び、来場者には焼き肉や焼きそば、フライドポテト、カレーライス、かき氷といった料理が無料で提供されたほか、子ども連れの参加者を対象とした射的やヨーヨー釣りも盛況を博していた。同社のマスコットキャラクター「ピースくん」との交流タイムでは着ぐるみと一緒に記念撮影をする家族連れの姿が見られたほか、トラックの荷台を利用したステージにはゲストの歌手だけでなく、河島社長も演者として登壇、美声と人気曲で場の雰囲気を一層盛り上げた。

また、工場が立地する新河岸地区唯一の小学校であり、同社にも毎年見学に訪れている新河岸小学校で生徒数が減少していることを受け、同校を応援するため、地元企業で組織する新河岸工業会を中心に結成された新河岸小応援団が寄贈したオリジナルTシャツが披露された。同校の金子陽子校長は「サッカーチームのユニフォームのように格好良いTシャツを全児童数作っていただき、感謝している。体操着として活用する以外にも様々な行事で着用していきたい」と、河島社長に謝意を伝えた。

## 「特殊コン」で講演

### 千葉県生コン工組

### 25年度技術セミナーを開催

勝呂和彦理事長

千葉県生コンクリート工業組合（勝呂和彦理事長）は6日、千葉市内で2025年度技術セミナーを開催した。

あいさつに立った勝呂理事長は「第1部は全国統一管理監査についての報告となる。参加者の皆様には日頃より各工場の品質管理を徹底いただき感謝している。今後とも㊟マークの取り消しなどが無いよう頑張っていただきたい。第2部では竹中工務店による特殊コンクリート工事についての講演が行われる。生コンのユーザーであるゼネコンからこのような形で話を聞く機会は少ない。有意義な時間となることを祈念している」と話した。

セミナーでは、第1部として同工組監査統括責任者の奥山藤雄氏、副監査統括責任者の平松宗男氏、川村明仁氏が「全国統一品質管理監査について」を報告。25年度監査基準チェックリストの内容などを解説した。また今年度同工組が通知した「路上洗車の全面禁止について（再通達）」についても説明した。

第2部では竹中工務店東京本店技術部の井上孝之氏、高木俊輔氏が「特殊コンクリート工事の概要（世の中でバズってる技術・話題とともに）」を講演した。暑中コンクリートの現状や22年のJASS 5の改定概要、高強度コンクリート、高流動コンクリートについて説明。またCFTコンクリートやマスコンクリート、ECMコンクリートについて解説した。生コン工場に対して求めることとして、各種規定類の改定に対して設計者、管理者、現場員が把握しきれていない状況を指摘し、「毎日コンクリートに接している『プロ』である生コン工場にもチェックをお願いしたい」とした。また環境性能や低収縮などコンクリートの種類の多様化に対して、対応できる運用や設備、スタッフの拡充を求めた。

## パシフィックシステム

# 完全子会社化へ

### 太平洋セメント

太平洋セメントは8日、連結子会社であるパシフィックシステムについて完全子会社化を目的に普通株式の全てを公開買い付けにより取得することを決定したと発表した。公開買い付け価格は6850円。買い付け期間は9月24日まで。公開買い付け完了後にはパシフィックシステムは上場廃止となる。

同社は、これまでもパシフィックシステムとの間で一定の連携を図ってきた。完全子会社化を通じて連携をさらに深化させるとともに、グループ全体としてのDX戦略の推進や中長期的な目標での投資促進、生産性の向上といったシナジーが期待される。

## 自由席

### 発生土リサイクル協会　赤坂　泰子理事長

### リサイクル士へ理解を

▽…「資源有効利用促進法改正や盛土規制法施行により建設発生土の適正管理と再利用は国の重要な政策となったが、課題は多く自治体のリサイクルの取り組みは十分に進まず多くのプラントが残土処分場として機能している」と話すのは全国建設発生土リサイクル協会の赤坂泰子理事長。21日の定時社員総会であいさつした。

▽…協会は設立5周年を迎え、これまでに土質改良プラント第三者認証制度を立ち上げ登録土質改良基幹技能者講習を開始。このほど改良土品質基準案を作成した。「リサイクル士の品質と意義への理解を広げ、公共工事をはじめ多くの現場で利用が進むようにはたらきかけていきたい」

## 事業停止、破産申請へ

### アレンジコンクリート

帝国データバンクによると、アレンジコンクリート（埼玉県）は7月4日までに事業を停止し、自己破産申請の準備に入った。2004年に設立。スタンプコンクリート、モルタル造形といった特殊な工事を手掛けていた。負債額は24年5月期末時点で約5億円。

## 「富山太平洋生コン」に

### デンカコンクリート

デンカコンクリート（富山県富山市、坪川勝社長）は、9月1日に社名を変更する。新社名は「富山太平洋生コン」。

なお、業務内容や連絡先等に変更はないとしている。


実務で必要な技術資料を収録　作業服のポケットに入るサイズ　マンスリーとウィークリーに対応！

生コンJISをお手元に！　技術資料付き

セメント・コンクリート手帳 2026

主な内容
●コンクリート用語（JIS A 0203-2025）
●コンクリートの材料（セメント、骨材、水、混和材料、鋼材などのJIS規格を抜粋）
●レディーミクストコンクリート（JIS A 5308-2024）とコンクリート製品JISを掲載
●セメント・コンクリート関係の名簿を掲載（関係団体、セメントメーカー、生コン業界団体、関連機器、資材業者など）

■発行：2025年11月15日
■判形：縦145mm×横98mm×厚さ10mm
■定価：￥2,200（本体￥2,000＋税）
■送料：一律￥220

ホームページから お申し込みいただけます　URL https://www.cement.co.jp

株式会社セメント新聞社　〒104-0031 東京都中央区京橋3-12-7 京橋山本ビル6F　TEL.03-3535-0621 FAX.03-3535-5632